

保健体育科「保健」学習指導案

令和5年 11月13日(月)
北中城高校 1年2組 40名
教諭 池宮城 志織

1 単元名 第1学年(1)現代社会と健康 (オ)精神疾患の予防と回復

2 単元の目標

- (1) 精神疾患の特徴・対処及び学ぶ意義について理解することができるようにする。
- (2) 精神疾患の予防と回復について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して、解決の方法を思考し判断するとともに、それらを説明することができるようにする。
- (3) 精神疾患の予防と回復について、自他や社会の健康の保持増進や回復、それを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組むことができるようにする。

3 単元について

- (1) 教材観：小・中学校においては「心の健康」を学習している。高等学校においては、我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理することや環境を改善することが必要であることが理解できるようにする必要がある。また、社会の様々な環境課題の理解とその解決に向け、思考・判断・表現できるようにする必要がある。本教材は、精神疾患の特徴や対処・回復を支える環境づくりなどについて学ぶことで、自他の健康やそれを支える環境づくりについて思考・判断・表現していくことができる教材である。
- (2) 生徒観：本クラスは、普通科で40名である。元気で自分の意見を主張できる生徒も多いが、特定の人としか関わりを持たない傾向が見受けられる。グループでの学習活動などを通して、相手が伝えたいことを理解しようとする姿勢や対話的で深い学びの実現につながってほしい。
- (3) 指導観：指導にあたっては、生徒が興味・関心を持ち、精神疾患について自分ごととして考えることができるよう、クイズや動画視聴などを通して正しい知識を習得させたい。また、個人で考える時間を確保したうえで、グループでの共有場面を設定し、いろいろな考えがあることに気づかせたい。さらに、差別や偏見に対する認識を高めることができるよう、単元を通して教師の声かけを意識していく。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
-------	----------	---------------

①精神疾患の特徴・対処及び学ぶ意義について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対象ではないことについて、理解したことを発言したり、ワークシートに記述したりしている。	①精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えるための対策を発言したり、ワークシートに記述したりして、説明している。	①精神疾患の予防と回復について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。
--	---	---

5 単元の指導と評価の計画（3時間）

時	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 精 神 疾 患 の 特 徴 と 学 ぶ 意 義	1. 自分の心の状態を数値化し、自分の心の状態に関心を持つ。 2. 動画を視聴し、心の健康を保つためにできることをワークシートにまとめる。 3. 心の不調に気付いたときに、誰に相談できるのか、なぜその人に相談できるのか、個人で考えた後にペアで共有する。 4. 精神疾患のイメージを3つ、ワークシートに記入する。 5. 精神疾患の特徴を精神疾患クイズ（part 1）を通して理解する。 6. 教師の説明を聞き、精神疾患を学ぶ必要性を考え、ワークシートにまとめる。 7. 精神疾患クイズ（part 2）を通して主な精神疾患について理解する。	① ①			ワークシート ワークシート
2 予 防 と 対 処	1. 事例を基に、「友人のこころの不調に気付いたら、自分に何ができるのか」を考え、ワークシートにまとめる。 2. 早期発見、治療や回復を妨げているものは何かを考えてワークシートにまとめ、グループで説明する。 3. 相談や受診のタイミング、差別や偏見について、社会的取組についてスライドや写真、動画を見ながら学ぶ。	②			ワークシート

・ 回 復	4. 精神疾患の人も、安心して「その人らしく生きていける」社会をつくるためにどうしたらよいかを考え、グループで発表する。		①		ワ ー ク シ ー ト ・ 観 察
3 伝 え た い こ と	1. 前時までの復習をスライドで行う。 2. 「未来課題」に取り組む。 「未来課題」 あなたは公認心理師です。沖縄県の高校生に配布する精神疾患の予防と回復のパンフレット作成を依頼されました。条件を踏まえて、パンフレットを作成してください。 3. 「未来課題」をグループで共有し、良かった点を伝えたり、質問をしたりして、それを全体でも共有（発表）する。 4. 「精神疾患に対する単元前後でのイメージの変化」や「今後の生活に生かして（取り入れて）いきたいこと」を考えワークシートにまとめる。			①	「未 来 課 題」

6 本時の学習（3／3時間）

本時のねらい：精神疾患の予防と回復について、高校生に伝えたいことを考える。

本時の評価：態－①精神疾患の予防と回復について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。

時	主な学習内容と学習活動	○教師の指導・支援 ◆ 評価規準と方法
は じ め 5 分	1. スライドでこれまでの学習を復習する。 ・精神疾患の特徴、予防と回復のために大切なこと	○単元のこれまでの学習を振り返り、本時の学習課題の見通しが持てるようにする。

	精神疾患の予防と回復について高校生に伝えたいことを考えよう	
展開 33分	2. 「未来課題」に取り組む。 「未来課題」 あなたは公認心理師です。沖縄県の高校生に配布する精神疾患の予防と回復のパンフレット作成を依頼されました。条件を踏まえて、パンフレットを作成してください。 3. 「未来課題」をグループで見合い共有し、全体でも共有する。	◆ 態一①（未来課題） ○公認心理師についての説明 ○記述が進まない生徒へは、キーワードや前時までのワークシートを一緒に見ながら、これまでの学習を教師とふり返る。 ○良いと思った考えや質問を話してよいことを伝える、全体にも共有する。
まとめ 7分	4. 単元の振り返り ・「精神疾患に対する単元前後でのイメージの変化」や「今後の生活に生かして（取り入れて）いきたいこと」をワークシートに記入する。 5. 次時の予告	○単元前後の考えの変容や今後に生かしたいことをワークシートにまとめるよう指示する。